

授業科目	社会と健康史	2 学年・前期・1 単位 (15 時間)	
		看護 理学 作業	必修 選択 選択

科目担当責任者	澄川真珠子 (保健医療学研究棟 E210 号) e-mail : masuko0811@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	水口徹、船木祝、(小杉真智子)、(高橋智美)、他		
概要	医療とそれを取りまく社会情勢が目まぐるしく変化するなか、医療と社会のつながりを理解することが求められている。人の健康は経済や戦争といったその時代・国の文化、社会情勢により影響され、医療職もまたその影響を受けて発展してきた。本科目は、医学の歴史とともに、医療と関わり深い社会問題を学び、人々の健康生活は社会にどのような影響を受けているのか、医療はどのような社会を背景に発展してきたのかを理解することを目的とする。そして、各職種立場から人々の健康と生活・権利を守るための社会の在り方を考えることを目指している。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医学の発展・変遷の背景にあった社会の歴史について概要を説明できる。 2. 戦争が人々の健康と医療に与える影響について概要を説明できる。 3. 薬害(エイズ、肝炎など)やハンセン病などの社会問題について概要を説明できる。 4. 優生保護法の歴史について概要を説明できる。 5. 医療と社会の歴史を学び、これからの医療について意見交換できる。 		
関連科目	社会学概論、文化人類学		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	ミニレポート	40%	
	最終レポート	60%	
教科書	指定なし		
参考書	指定なし		
履修上の留意点	<p>日程・内容を変更する際、事前に掲示あるいは口頭で伝える。</p> <p>最終レポートは欠席が3分の1以下の者のみ提出できる。ただし一コマ2時間であるので、3コマ欠席の場合は6時間欠席となり、3分の1以上となるので留意すること。</p> <p>参考図書はガイダンス時に配布する。</p>		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	ガイダンス 社会と健康	事前：自己の学習目標を明確にする 事後：身近にある健康と社会との関連について考える	講義	澄川
2	医学の歴史：手術の歴史	事前：医学の歴史に関する文献を読む 事後：講義の関連文献を読む	〃	水口
3	戦争と医療	事前：ナチスドイツによる戦争犯罪について調べる 事後：講義の関連文献を読む	〃	船木
4	感染症と社会 - ハンセン病 -	事前：配布された資料を読む 事後：講義の関連文献を読む	〃	(小杉)
5	薬害問題と社会 - 薬害エイズ -	事前：薬害に関わる文献・記事を読む 事後：講義以外の薬害の関連文献を読む	〃	澄川他

6	優生保護法の歴史 - 障害者に対する強制不妊手術 -	事前：旧優生保護法について調べる 事後：講義の関連文献を読む	〃	(高橋)
7	緩和医療の歴史	事前：ホスピスの歴史について調べる 事後：講義の関連文献を読む	〃	船木
8	これからの医療のあり方	事前：認知症に関する問題について調べる 事後：これからの介護・医療・福祉の在り方についての文献を読む	〃	澄川